



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)
あっさり黙示録 #49
大バビロンから脱出せよ!
黙示録 18 章

2023/01/21

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

お元気ですか。高原剛一郎です。今日はあっさり黙示録の49回目。
今までついて来てくださって、本当に感謝しております。

1979年、考古学者のガブリエル・バルケイが銀の巻物2つを発見しました。
それを丁寧に丁寧に、何か月も掛けて開いて解読したところ、すごいことが分かりました。
今から2600年以上前に書かれた旧約聖書の写本であることが判明したのです。
これは死海写本よりも400年以上前の、おそらく世界最古の旧約聖書の写本です。
もちろん全文ではありません。部分です。しかし、世界で一番古い旧約聖書の写本でした。

そこには**民数記 6章 24節-26節**が書かれていたんです。

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与られますように。

主という言葉が3回出て来ます。**主**はヘブライ語で יהוה (右からヨッド・ヘ・ヴァウ・ヘ) という神聖4文字、おそらく「**ヤーウエ/Yahweh**」と発音したであろう“神の固有名詞”なんですね。

なぜ、神の固有名詞をカタカナで書かなかったんでしょう。

ユダヤ人たちは、主のお名前・神ご自身の固有名詞を発音することを恐れたんです。
代わりに“ご主人様”に当たる「**アドナイ/Adonai**」に言い替えて来ました。

ところが、ユダヤ教のラビたちは、この言葉が出て来るたびに「アドナイ」と読んでいたにも拘らず、**民数記 6:24-26**の“大祭司の祝福の祈り”だけは例外的に、そのまま神のお名前「ヤーウエ/Yahweh」と発音しても良いと教えて来たのです。

これは“大祭司にすぎりついて、神から祝福を頂くための祈り”と言われていて、非常に重要な祈りなんですね。それが描かれた、刻まれた写本がとうとう発見されたんです。

ところで、これがどこで発見されたかがすごいんですよ。エルサレムの**ヒンノムの谷**で発見されたんです。**ヒンノムの谷**はギリシア語で**ゲヘナ**。**ゲヘナ**は究極の**地獄**。

2600年前、ヒンノムの谷で何があったのか。そこは偶像の谷間。偶像が作られていました。

手の平の形の偶像を真っ赤に燃やします。ユダヤ人たちは、自分の子供をその真っ赤に燃えた金属製の偶像の手の上に置き、焼き殺して、ささげ物にしたんです。

これは神が憎むこと。最もしてはならないことでした。この最悪の時代、最悪の事をしている最悪の場所で、この写本が見つかったんですね。これは何を意味しているのでしょうか。

どんなに最低最悪の時代・場所でも、心密かに神の恵みを追い求め、神に立ち返ろうとする人たちが、極少数ながら必ず残されているということなんです。

それが**黙示録**・**艱難時代**の中にも起こることなのです。今日は、そんなことを語っている箇所です。

黙示録 18 章

4 それから私は、天からもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わたしの民は、この女の罪に関わらないように、その災害に巻き込まれないように、彼女のところから出て行きなさい。」

この女・彼女は**大バビロン**のことです。

わたしの民は、大バビロンの中でイエス・キリストを信じている人たち。

反キリストはイエス・キリストを何よりも憎んでいるので、キリストを信じる人たちを目の敵にしている。そんな反キリストの牙城・お膝下である大バビロンの中に、なんとイエス・キリストを畏れ、救い主として信じる人たちがいた。そんなこと、あり得るのか。あり得るんですね。

歴史の中で、こういったことは何度も何度もありました。

ここから3つ考えたいと思います。

1 最低最悪の時代と場所で、神はいつも最善を密かに行っておられる。

どんな暗闇の時代・どんな最悪の場所でも神は見捨てておらず、そこに残りの民を持ち、良き業を推し進めておられます。もし今、最悪の状態なら諦めないでください。

神は、悔い改めてイエス・キリストを信じる人を救ってくださいます。救いに手遅れはありません。今からでも間に合います。ぜひイエス・キリストを信じていただきたいのです。

2 なぜ大バビロンにクリスチャンたちがいたのでしょうか。

バビロンの外でキリストを信じて、後からバビロンに連れて来られたとも考えられますね。

バビロンにいたが、144,000人のユダヤ人伝道者の何人かが入り込んで、ここで伝道してくれた。それによって信じた人もいるでしょう。また、自分の信仰を隠して、まるで隠れキリシタンのように、そこに潜伏していた人たちがいたかもしれません。いずれにしても、大バビロンに信仰者たちがいたんです。

3 その信仰者たちに、神はメッセージをされました。「彼女のところから出て行きなさい。」

なぜ大バビロンから脱出しなさいと言われたのか。理由が2つ書いてあります。

①この女の罪に関わらないように。

7年間の大艱難時代の前半は、大バビロンにいても、なんとかその罪に関わらず生きることができたかもしれません。しかし後半3年半になると、反キリストは自らを神として全面に押し出している。大バビロンに住みながら、反キリストからの恩恵を受けることなく生きていくのは非常に難しいと思います。「彼女の罪に関わるな。さあ、そこから出なさい。正気を保ち、聖さを保つために、バビロンから出て行きなさい。」

私たちはいったい何者でしょう。ある哲学者は「私たちと私たちの環境である」と言いました。

私たちが自分の環境を良くするためには、今置かれている環境を良くする必要があります。

非常に不道徳でどうにもならないところにいるなら、それでも信者であることに変わりはないけれど、そこで健全に成長していくことは大変な困難を伴います。

もしそのようなところにおられるなら、脱出することをお勧めします。

②その災害に巻き込まれないように。

大バビロンは一日のうちに5つの災害を受けて壊滅します。

その大災害は黙示録 16 章に書いてあります。第 1 の鉢から第 5 の鉢の裁き。

腫れもの。川が打たれ、海が打たれ、闇が覆い、太陽の炎熱で焼かれる。たった一日のうちに。

「その場所において受ける必要はない。だから、そこから出て行きなさい。」

神は何のために終末預言を書いたのかが、この御言葉から推察できるのです。

黙示録に限らず、聖書はこれからの世界がどうなっていくのかを前もって語っています。

それが書かれている理由の1つは、私たちに準備させるためです。

「逃げるべきところにいるなら逃げなさい。やめるべきところにいるならやめなさい。

悔い改めるべきことがあるなら悔い改めなさい。そうして、イエス・キリストを信じなさい。」

実にこれは、福音が語られているということなんですね。

黙示録の裁きのメッセージのど真ん中に神の福音が語られていることは、本当に大きな慰めです。

いかがでしょうか。既にイエス・キリストを救い主として信じておられますか。

まだの方はぜひ、ご自分の救い主としてキリストを信じてください。心からお勧めします。

またこの続きをお話ししますので、これからもよろしくお願いします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。

それまで皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社 2017